

十月例会

「山中湖・花の都公園と勝沼ぶどう狩りツアー」の思い出

宮田はるみ

十月例会は、昨年も開催されて好評だったバスツアーでした。今年の目的地は山中湖方面で花の都公園の散策と甲州の名物ほうとうを食べ、勝沼のぶどう狩りとワイン工場の見学など盛り沢山でした。参加者は四三名でその内非会員は十五名でした。

ツアーの企画は今年の一月ころから始まり、事業部では五月の総会後にはツアーのチラシ作りをしました。昨年の反省を踏まえて、今年には会員と非会員の参加費を分けることにしました。また、昨年同様に、有志の方々にお手伝い頂きながら、四三名を四班に分けて、参加者への通知や集金作業などもお願いしました。当日は大変良い天気恵まれて、朝八時に新宿駅西口地下交番前に集合しました。もう、沢山の方々が集まっていて、今年は一人も遅れるこ

となく、全員定刻には集合し、バスはほぼ定刻に出発しました。事前に派遣センターへ、二名の手話通訳者をお願いしました。手話通訳者はバスの先頭と、サロン席に座ってもらい、通訳していただきました。また、各班に情報保障用のホワイトボードを使ってもらい必要な情報は書きこんでもらいました。

最初に訪れたのは、富士山がくっきり見える、山中湖近くの花の都公園です。雲一つない空に、雪をかぶってない、珍しい富士山を見ることができました。花の都公園・清流の里は、標高千メートルに位置する富士山麓の高原リゾートで、三十万平方メートルの敷地には春から秋にかけて花畑が広がり、春を彩るのはチューリップ、初夏にはポピーや菜の花の仲間、秋にはコスモスが揺れる。十一月末から一月中旬にかけて富士山頂に夕日が重なる「ダイヤモンド富士」も楽しめることで有名です。また、園内の「清流の里」には、

幅八十メートル、落差十メートルの明神の滝や三連大水車、温室ドームなどがあり北海道を思わせる広大な大地の公園でした。コスモスが風に揺れてのんびりとした時間を過ごしました。



(雲一つない空に雄大な富士山)



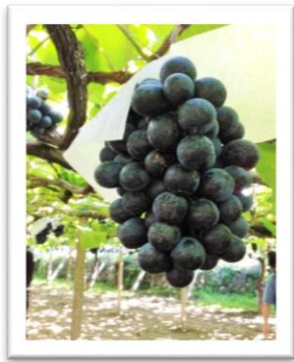
(三連大水車)

次に訪れたのは、ほうとう専門店のお店です。高さ3メートルくらいある、大きな提灯が飾ってある入り口を入ると、広い店内には、お土産がずらりと並び、着席するとすぐに、鉄鍋に入ったほうとうが運ばれてきました。

熱々のほうとうは本当に美味しくっておなか一杯食べました。心も体もあつ

たかくなっていききました。勿論お土産にも、ほうとうを買ってきました。

次の目的地は、勝沼のぶどう園「古園」です。こちらも大きなぶどう園で、沢山のぶどうの種類が並んだ売店や、園内でバーベキューができるように準備されています。私たちは「ベリー」を選び、四十五分間の食べ放題で500円、持ち帰りのぶどうは一キロ1000円との事でしたが、ほうとうを食べたばかりでみなさんあまり、ぶどうは食べていなかったもので、500円は返金してくださいました。私はお土産にベリーAとNさんお勧めの甘い「スプレーマスカット」を買ってきました。



の最後は、シャトー勝沼のワイン工場見学でした。こちらの

工場もとても大きな施設で、工場内を二班に分かれて順次見学し、詳しく係りの方から説明を受けました。ワイン樽が並ぶ工場内で、1樽が200万円もすると聞きました。大きな会社などが樽ごと購入することがあるそうです。販売された樽ワインは、工場内の管理された場所できちんと保管してくれるそうです。

そのあと、ワインの試飲とお土産等購入して帰ろうとした時です、参加者のUさんが、「この工場はいとこが経営しているはず」と言い、係りの方にお話してみると、社長さんはいるとの事で、すぐに連絡してくださいました。何十年ぶりに会ういとこの方だそうです、覚えていてくださり、Uさんと懐かしく話をされていました、そしてバスツアーの参加者全員にワインのプレゼントをいただきました。今年の新種ワインのロゼです。私は帰宅後主人と美味しくいただきました。「御馳走様でした」